

令和元年度第2回審議会

日 時	令和元年11月26日（火） 10時00分から10時53分まで
場 所	関市役所北庁舎6階 6-2会議室
出席委員	足立千代子、遠藤俊三、大坪博子、内藤洋子、畠山久志、深川寛治、森真一、山田博（計8名）
出席職員	後藤基盤整備部長、大西基盤整備部参事 水道課 奥田課長、塚原 下水道課 後藤課長、清水（計6名）
傍聴者	なし
<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1)事業状況</p> <p>ア 水道事業の現況</p> <p>イ 水道事業会計の決算</p> <p>ウ 下水道事業等の現況</p> <p>エ 下水道特別会計等の決算</p> <p>ア、イについて奥田課長、ウ、エについて後藤課長説明</p> <p>（委員）テレビなどでも老朽管の話題は出ているのでお金がかかることは理解していません。</p> <p>（会長）岐阜県では今年の台風19号の影響はあまりなかったもので、今年度の決算は良くなる見込みですか。</p> <p>（後藤課長）災害の影響分は減ると思います。</p> <p>（委員）関市は水道料金が全国的に比較しても安いので、市の方で努力している結果だと思っています。</p> <p>（奥田課長）県内21市の中では関市が1番安いです。町村を合わせても6番目に安い料金になっています。</p> <p>（委員）長良川水系なので浄水器もいらないと言われました。</p> <p>（奥田課長）きれいな水を送っているので基本的には不要だと思っています。</p> <p>（会長）関市の水道水は元々水質が良いですね。</p> <p>（委員）高賀の水が売られていますけどどこで作られていますか。</p> <p>（後藤部長）奥長良川名水という会社を作っています。</p> <p>（委員）確か会議で使ったことがありますけど、関市の水もペットボトルで売ってましたね。</p> <p>（塚原）関の水道原水、刀都水です。</p> <p>（会長）値段は高かったですね、作る量が少ないので。</p> <p>（委員）川の水とは思えない、質が良くて水道水とは分からないぐらいでした。</p> <p>（後藤課長）川の水ではなく井戸水です。</p> <p>（奥田課長）関市の場合は川から直接採っているのではなく、長良川沿いの所で井戸水</p>	

を汲み上げています。

(後藤課長) 水源地が長良川のすぐ横にあるので長良川の水を飲んでいると思っている市民の方も多いが、実際はそこで汲み上げた井戸水です。

(委員) 川の水を浄化してきれいになったものを飲んでいると思っていました。

(後藤部長) どこまでを川の水と捉えるかですが、地下 30m の所から汲み上げるので井戸といえば井戸ですし、川の伏流水といえばそういうことになります。どちらにしてもかなり浄化されたきれいな水です。

(2) 報告事項

ア 市内全域が 2 週間停電した場合の状況や課題等について

奥田課長、後藤課長説明

(会長) 対応が難しいというのが正直な所かと思いますが、原状復帰をどうやっていくかについて今後の見通しなどはどのように考えていますか。

(副会長) 資料でいくと課題の所が重要。

(奥田課長) 発電機が必要となる施設があるので、電力会社と協定を結び優先的に貸していただけると言ってもらえましたが、2 週間停電するケースとなると大きな災害であり、被害も関市だけとはいかないので、協定を結ばせていただいたとしても災害時に実際どれくらい協力してもらえるかが一つの課題だと思っています。また、燃料も備蓄分だけではすぐに使い切ってしまうますが、ガソリンスタンドと協定を結んだとしても大元からの仕入れができなくなることが想定されますので、課題が多いと思っています。

(会長) 千葉県の場合は停電が長引いて大変だったが、岐阜県では 2 週間停電したようなことはありましたか。

(委員) そういとは無かったが、今後のことを考えると備えておかななくてはいけないと思っています。停電が 2 週間のケースでは被災地が広範囲になります。復旧対応は病院、市庁舎、消防などが第一優先ですが、その次に上下水道施設も高い優先順位となっています。発電機は中電関営業所では 300 キロのものが 1 台あるだけで、全社でも 60 台しかありませんので他電力からも借りながら対応することになります。

(会長) 停電は市民生活に大きな影響をもたらすので、万全な対応ができるよう備えてほしいです。

イ 上下水道使用料徴収業務委託の状況報告について

奥田課長説明

(会長) これを見ますと数字的には良くなってきているので、今後も続けていただいて状況が良い方向へ改善されていってほしいですね。

(委員) 低所得者への対応はどうしていますか。給水停止となると生活に影響するので厳しいと思いますが。

(奥田課長) 上下水道を使った分は払っていただくことには変わりありませんが、そう

いった方には別の方法で対応させていただいています。

(3) その他

(後藤部長) 次回の審議会は来年度7月頃に開催することを提案 (了承を得た)

(遠藤副会長) 漏水対策の課題については前回までの審議会でも報告がありましたが、今回の資料を見ても H30 年度で水道の有収率が下がっていることや、供給単価を給水原価が上回っている状況で、これが今後も続くとなると、どこかで大掛かりな漏水の調査をしないといけないと思います。ただ、お金がかかり大変なこともわかるので、どうしていくのかを考えないといけない。有収率からは無駄に約 36% も料金にならない水を汲み上げている状況なので心配です。

(奥田課長) 前回の審議会でも話題となりましたが、例えば借金をして一気に全部やっってしまうということも考えられますが、それをしますと経営状況が非常に悪くなってしまいうため難しい所です。

(遠藤副会長) 私でも思うことなので、市民の方から聞かれた時に何と答えるのかを留意しておかないといけないと思います。また考えておいてください。

3 閉会